

2. 運動やスポーツに関することについて

(1) 運動やスポーツの好き嫌い

問10 あなたは、運動やスポーツが好きですか。(〇は1つだけ)

※『好き』:「自分でするのも見るのも好き」と「どちらかといえば自分でする方が好き」と「どちらかといえば自分で見る方が好き」の合計

○運動やスポーツの好き嫌いは、「どちらかといえば見る方が好き」が30.8%で最も多く、「自分でするのも見るのも好き」(28.5%)と「どちらかといえば自分でする方が好き」(17.5%)と合わせると『好き』が76.8%となっており、「するのも見るのも嫌い」と回答した割合(4.3%)を大きく上回っている。

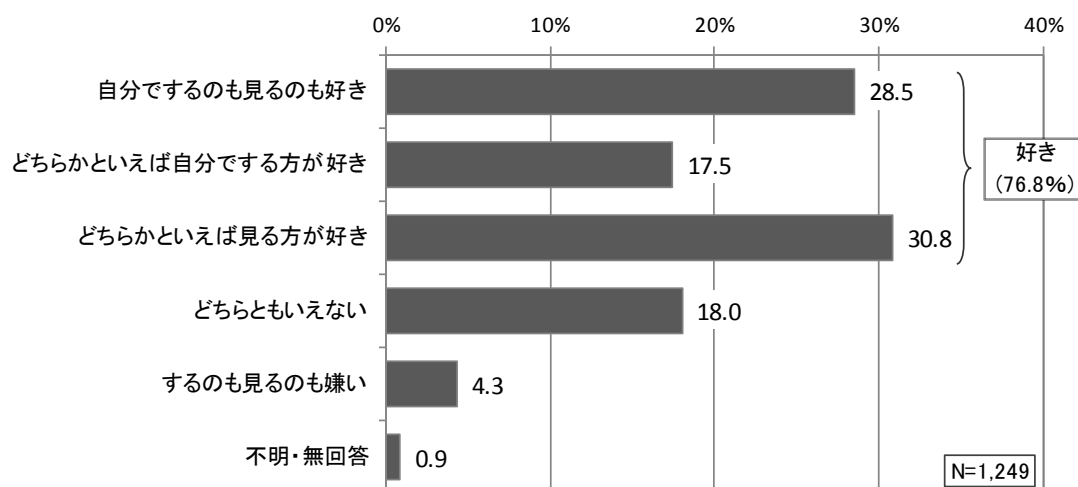


図 20 運動やスポーツの好き嫌い

○性別にみると、男性では「自分でするのも見るのも好き」(33.5%)、女性では「どちらかといえば見る方が好き」(32.1%)が最も多くなっている。『好き』の割合は、女性(72.6%)よりも男性(82.6%)の方が10.0ポイント高くなっている。

○年代別に『好き』の割合をみると、20歳代以下が80.4%で最も高く、以下、50歳代が78.8%、60歳代が77.7%と続いている。30歳代以下では「どちらかといえば自分でする方が好き」、60歳代以上では「どちらかといえば見る方が好き」と回答した割合が、他の年代と比べて高くなっている。

○居住地域別にみると、丹後では「自分でするのも見るのも好き」、他の地域では「どちらかといえば見る方が好き」が最も多くなっている。『好き』の割合は、京都市が78.2%で最も高く、以下、中丹が76.9%、乙訓・山城が76.7%と続いている。

○休日における運動やスポーツとの関わり別にみると、関わりが多い人ほど「自分でするのも見るのも好き」と回答した割合が高く、一方で、関わりがほとんどないほど「どちらかといえば見る方が好き」と回答した割合が高くなっている。関わりがほとんどない人でも「するのも見るのも嫌い」と回答した人は6.9%にとどまっている。

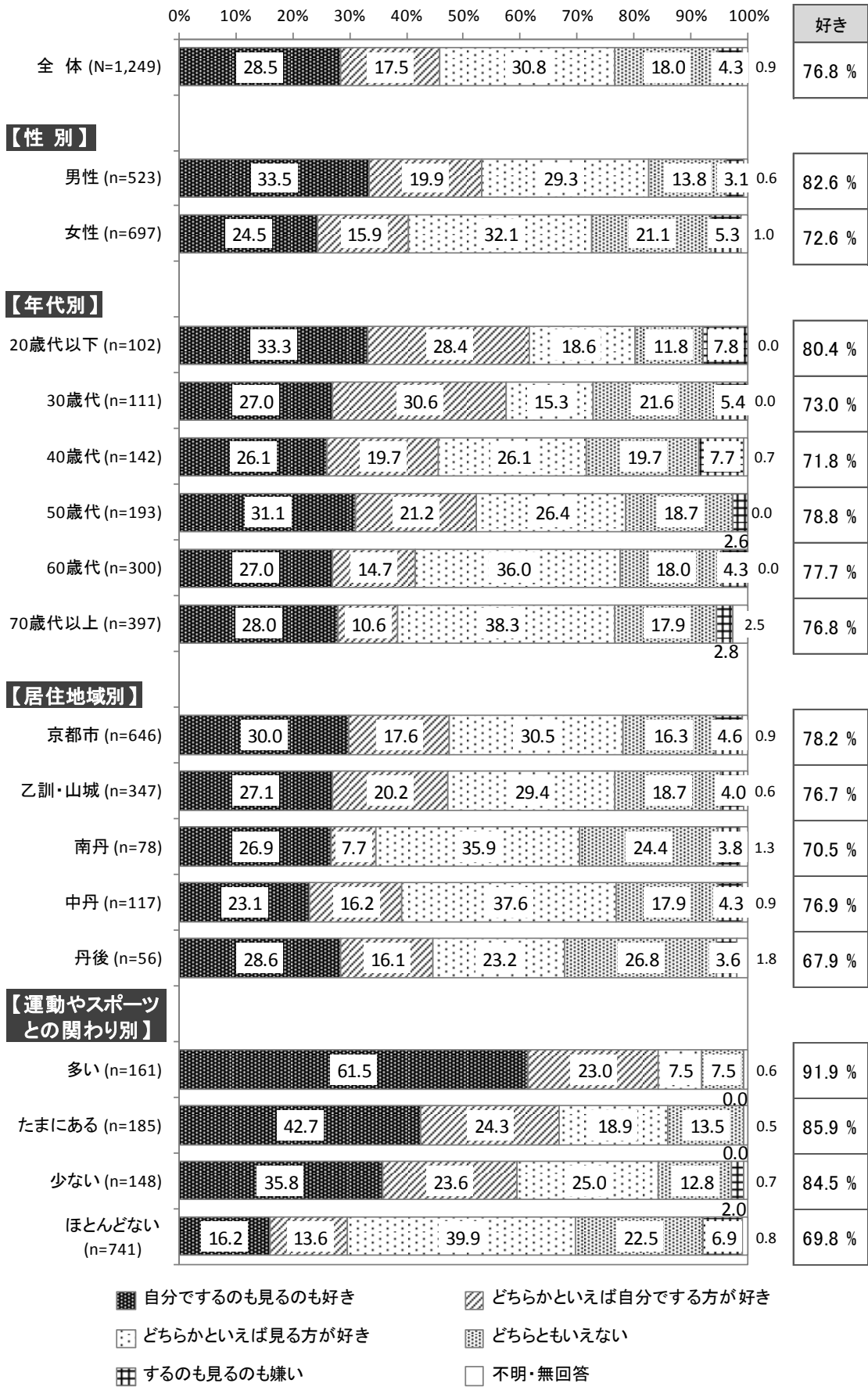


図 21 運動やスポーツの好き嫌い《性別・年代別・居住地域別・休日における運動やスポーツとの関わり別》

○現在の健康状態（図 9, p.9参照）別にみると、健康である人では「自分でするのも見るのも好き」、他の健康状態では「どちらかといえば見る方が好き」が最も多くなっている。特に、『非健康』な人では「どちらかといえば見る方が好き」と回答した割合が5割強と高くなっている。

○普段、運動不足を感じるか（図 13, p.13参照）別にみると、どちらともいえない人を除いて、運動不足を感じる人ほど「自分でするのも見るのも好き」と回答した割合が低くなっている。

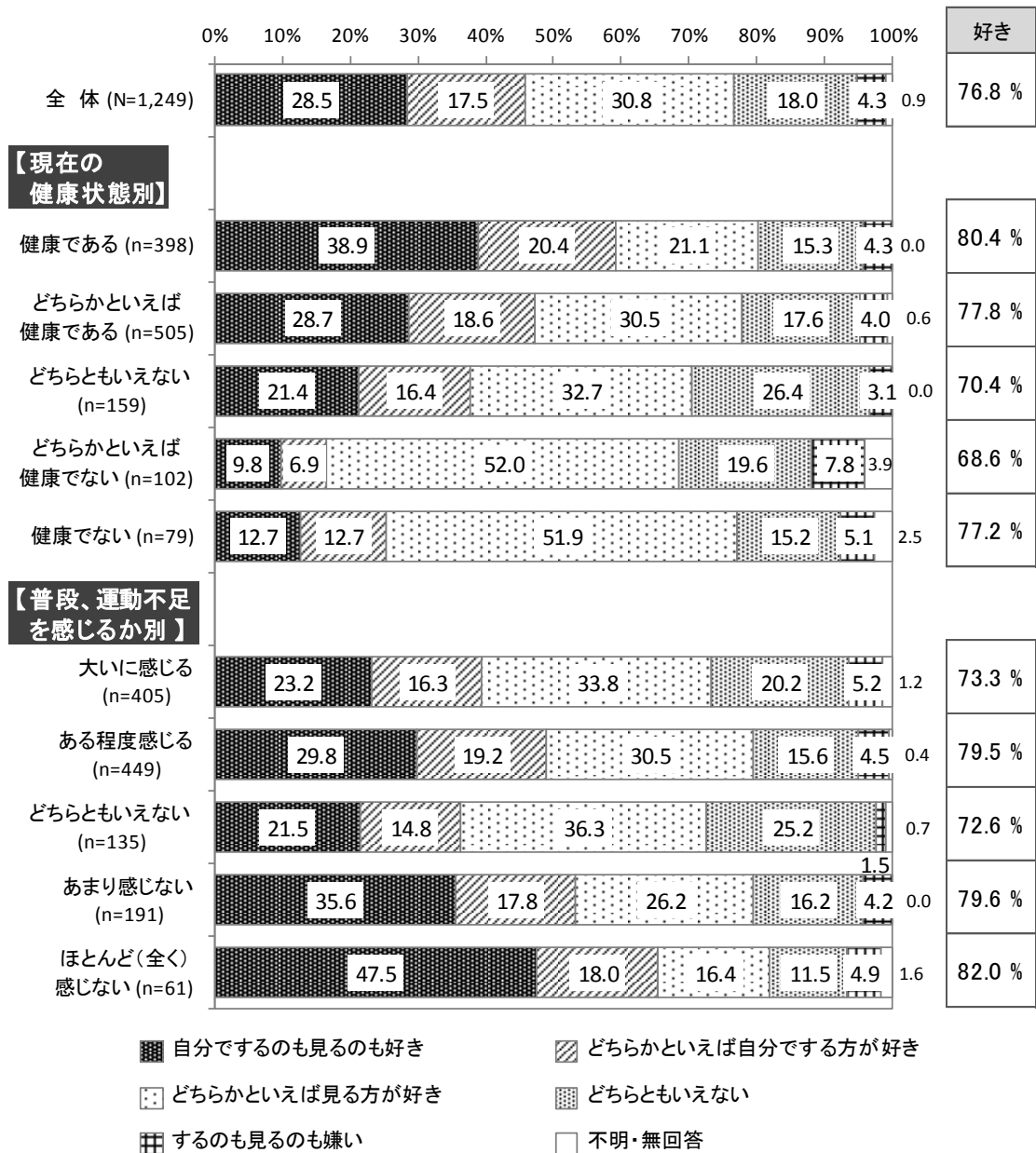


図 22 運動やスポーツの好き嫌い《問7 現在の健康状態別・問8 普段、運動不足を感じるか別》

(2) 運動やスポーツが個人や社会にもたらす価値

問11 運動やスポーツが個人や社会にもたらす価値についてあてはまると思うものはどれですか。(複数回答可)

○運動やスポーツが個人や社会にもたらす価値は、「健康の維持増進」が78.8%で最も多く、以下、「人と人との交流」が62.5%、「精神的な充足感」が47.0%と続いている。

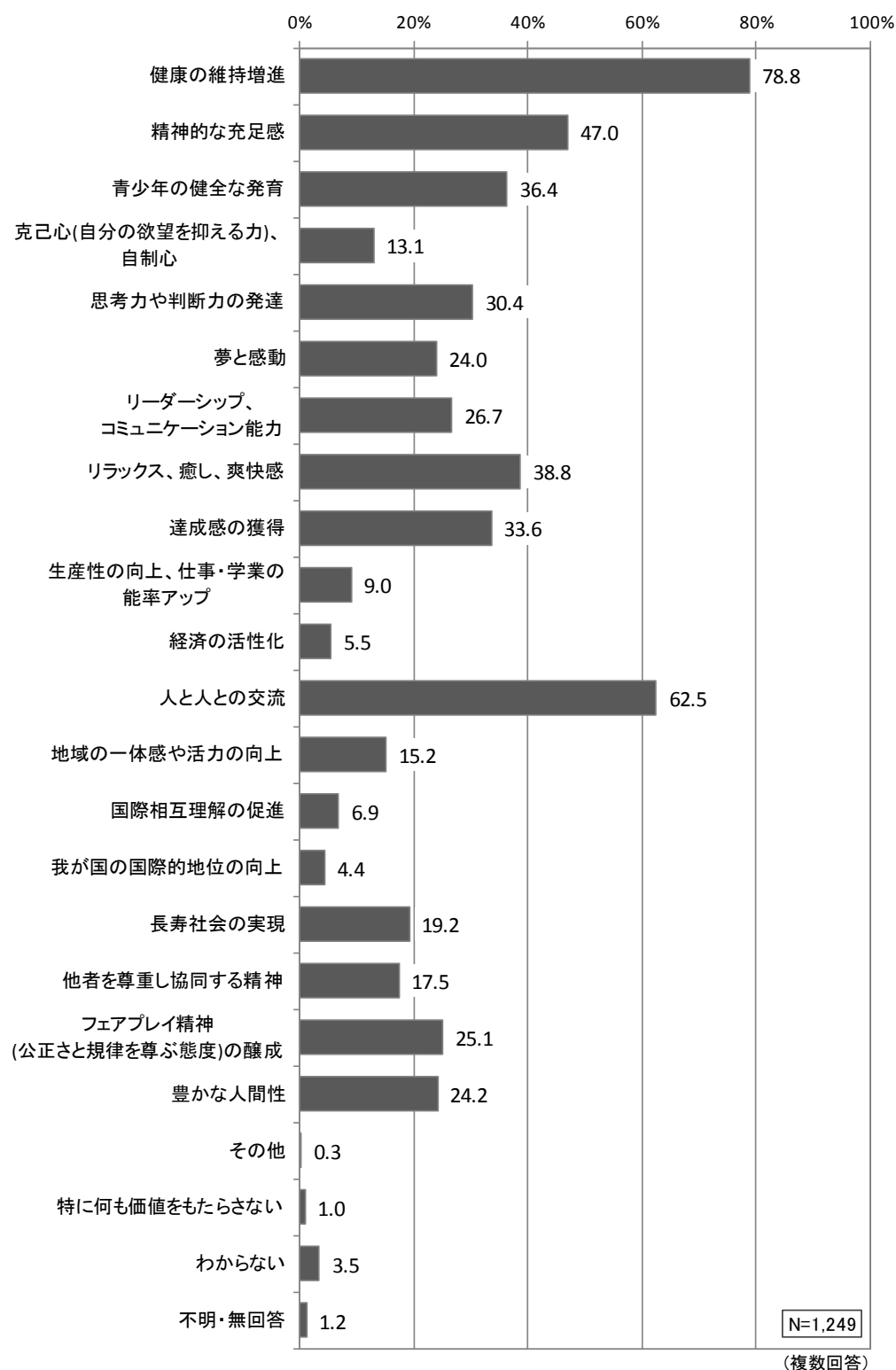


図 23 運動やスポーツが個人や社会にもたらす価値

- 性別にみると、男性・女性ともに「健康の維持増進」、「人と人との交流」、「精神的な充足感」が上位3つを占めており、男女で大きな差はみられない。
- 年代別にみると、すべての年代で「健康の維持増進」、「人と人との交流」、「精神的な充足感」が上位3つを占めている。「リーダーシップ、コミュニケーション能力」については、年代による差が大きく、30歳代（49.5%）と20歳代以下（44.1%）では4割以上であるのに対し、70歳代以上では14.1%となっている。「達成感の獲得」についても30歳代以下では約5割であるのに対し、70歳代以上では18.6%となっている。

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

上位10項目 (複数回答)		健康の維持増進	人と人との交流	精神的な充足感	リラックス、癒し、爽快感	青少年の健全な発育	達成感の獲得	思考力や判断力の発達	リーダーシップ、コミュニケーション能力	(公正さと規律を尊ぶ態度)の醸成	豊かな人間性
全体 (N=1,249)		78.8	62.5	47.0	38.8	36.4	33.6	30.4	26.7	25.1	24.2
性別	男性 (n=523)	77.8	61.0	44.4	37.3	32.1	30.6	30.4	27.3	25.6	21.6
	女性 (n=697)	79.6	63.6	48.9	40.3	40.3	35.9	30.3	26.3	25.4	26.0
年代別	20歳代以下 (n=102)	77.5	70.6	54.9	46.1	23.5	48.0	36.3	44.1	24.5	27.5
	30歳代 (n=111)	85.6	70.3	63.1	44.1	46.8	50.5	40.5	49.5	36.9	27.0
	40歳代 (n=142)	81.7	64.1	53.5	35.9	44.4	36.6	30.3	37.3	27.5	17.6
	50歳代 (n=193)	80.3	60.6	57.5	48.2	40.4	44.6	29.0	31.1	30.1	22.3
	60歳代 (n=300)	82.3	63.0	46.7	41.7	39.3	33.7	29.0	21.0	26.0	25.7
	70歳代以上 (n=397)	72.8	58.2	33.0	29.5	29.7	18.6	27.5	14.1	18.1	24.9

図 24 運動やスポーツが個人や社会にもたらす価値／府全体の上位 10 項目《性別・年代別》

(3) 最も強く感じる個人や社会にもたらす価値

(問11で「1.健康の維持増進」～「20.その他」と答えた方に)
 問12 また、そのうちもっとも強く感じるものはどれですか。
 (問11で選択された中から1つだけ選び、番号でお答えください。)

○最も強く感じる個人や社会にもたらす価値は、「健康の維持増進」が32.3%で最も多く、次いで、「人と人との交流」が13.3%となっている。

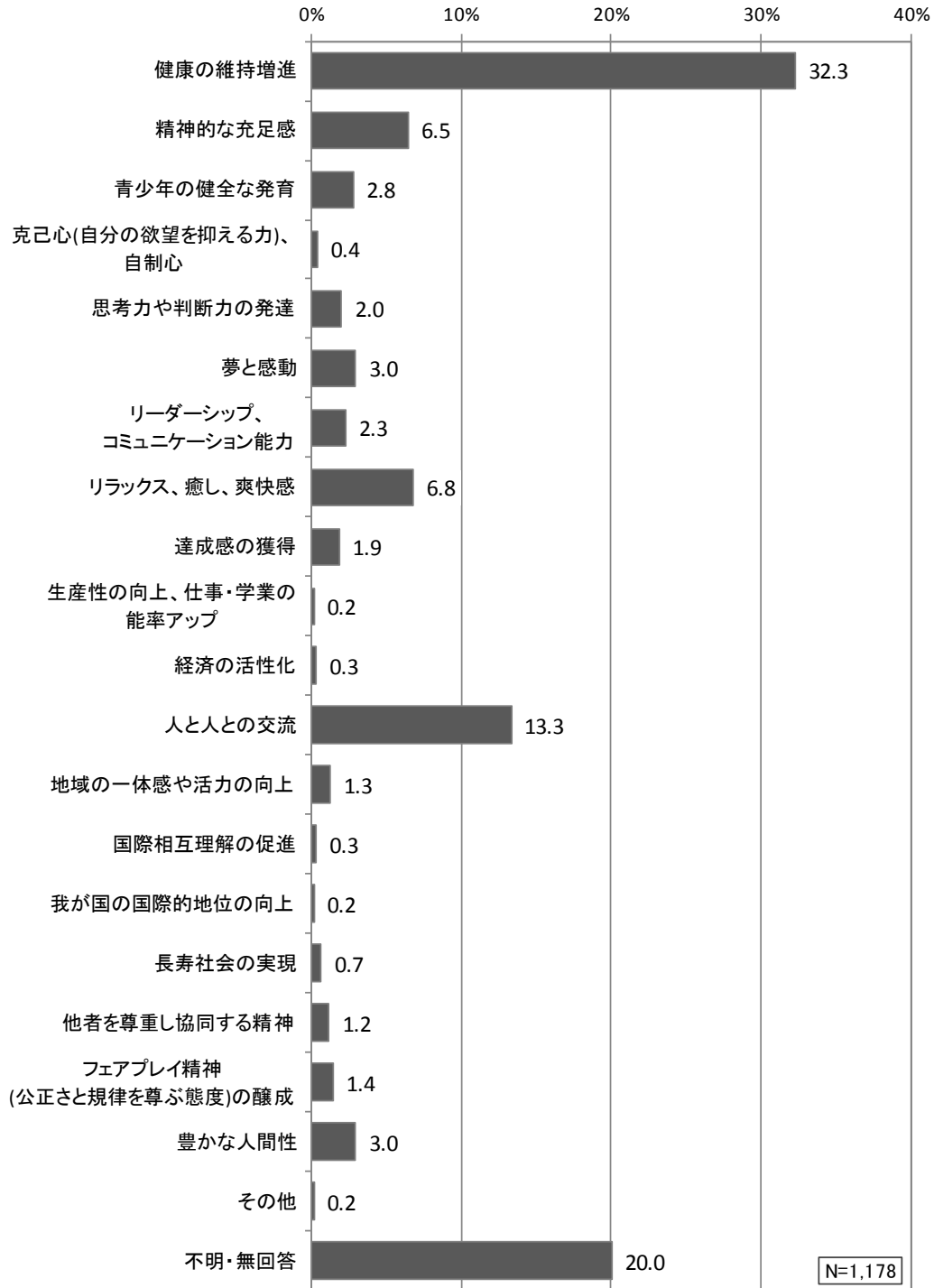


図 25 最も強く感じる個人や社会にもたらす価値

- 性別にみると、男性・女性ともに「健康の維持増進」、「人と人との交流」の順で多くなっており、男女で大きな差はみられない。
- 年代別にみると、すべての年代で「健康の維持増進」が最も多くなっており、特に、40歳代（40.4%）と60歳代（39.9%）では約4割を占めている。次いで、すべての年代で「人と人との交流」となっている。

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

上位10項目	健康の維持増進	人と人との交流	リラックス、癒し、爽快感	精神的な充足感	夢と感動	豊かな人間性	青少年の健全な発育	リーダーシップ、コミュニケーション能力	思考力や判断力の発達	達成感の獲得	
全体 (N=1,178)	32.3	13.3	6.8	6.5	3.0	3.0	2.8	2.3	2.0	1.9	
性別	男性 (n=493)	30.0	14.4	8.1	5.5	1.4	2.2	3.0	1.8	1.2	
	女性 (n=657)	34.4	12.2	6.1	7.0	4.0	3.7	1.5	2.3	2.4	
年代別	20歳代以下 (n=97)	25.8	21.6	7.2	10.3	3.1	4.1	0.0	6.2	2.1	1.0
	30歳代 (n=109)	23.9	16.5	6.4	10.1	2.8	3.7	4.6	5.5	2.8	1.8
	40歳代 (n=136)	40.4	14.0	7.4	5.9	2.2	1.5	2.2	2.9	3.7	5.1
	50歳代 (n=189)	34.4	12.2	7.4	11.1	4.2	4.2	2.1	0.5	1.6	4.2
	60歳代 (n=286)	39.9	12.2	8.0	5.6	3.1	1.0	4.2	1.4	2.1	0.7
	70歳代以上 (n=357)	26.3	11.2	5.3	2.5	2.5	3.9	2.5	1.4	1.4	0.6

図 26 最も強く感じる個人や社会にもたらす価値／府全体の上位 10 項目《性別・年代別》

(4) この1年間に行った運動やスポーツ

問13 この1年間にあなたが行った運動やスポーツがあれば全部あげてください。
(複数回答可) ただし、職業として行ったものは除きます。

※『運動した』:「体操」～「その他」のいずれか1つ以上を回答した人の割合

- この1年間に『運動した』割合は、85.9%となっている。一方、「運動やスポーツはしなかった」と回答した割合は、12.2%となっている。
- 行った運動やスポーツの内容としては、「ウォーキング(歩け歩け運動、散歩などを含む)」が59.1%で最も多く、以下、「体操(ラジオ体操、ストレッチ運動などを含む)」が48.8%、「自転車、サイクリング」が21.2%と続いている。
- その他、1割以上の人が行った運動・スポーツは、「補強運動(腕立て伏せなど)、室内運動器具(ウエイト器具など)を使ってする運動」(17.2%)、「ランニング、ジョギング」(10.1%)となっている。

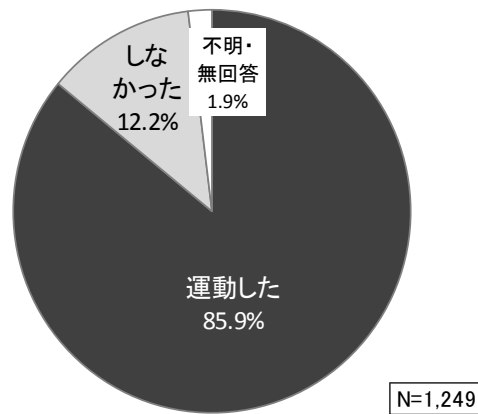


図 27 この1年間の運動やスポーツの実施有無

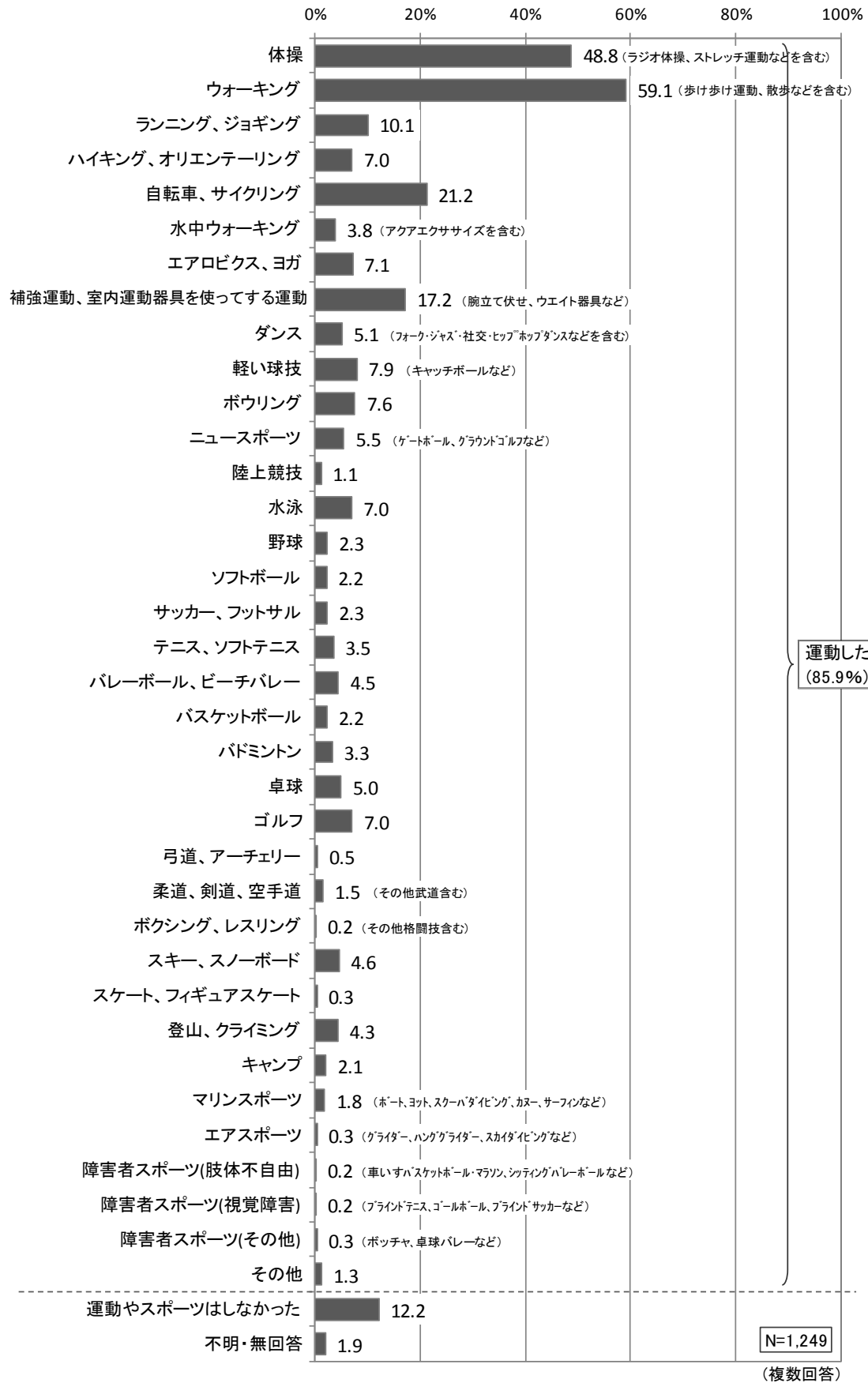


図 28 この1年間に行った運動やスポーツの種目

- 性別に『運動した』割合をみると、男性（86.0%）と女性（85.7%）で大きな差はみられない。行った種目は、男性、女性とも「ウォーキング」、「体操」の順に多く、次いで、男性では「補強運動、室内運動器具を使ってする運動」、女性では「自転車、サイクリング」となっている。
- 年代別に『運動した』割合をみると、20歳代以下が92.2%で最も高く、以下、50歳代が90.7%、30歳代が90.1%と続いている。一方、「運動やスポーツはしなかった」と回答した割合は、70歳代以上が15.4%で最も高く、次いで、40歳代が14.1%となっている。行った種目は、すべての年代で「ウォーキング」、「体操」の順に多くなっている。また、「自転車、サイクリング」、「補強運動、室内運動器具を使ってする運動」、「ランニング、ジョギング」と回答した割合は、若い年代ほど高くなっている。
- 休日における運動やスポーツとの関わり別に『運動した』割合をみると、関わりが多いほど割合が高くなっている。一方、ほとんどない人では「運動やスポーツはしなかった」が18.8%となっており、他の関わり方と比べて割合が高い。行った種目は、関わり方にかかわらず「ウォーキング」、「体操」の順に多くなっている。また、「補強運動、室内運動器具を使ってする運動」、「ランニング、ジョギング」と回答した割合は、関わり方による差が大きく、関わりが多いほど高くなっている。

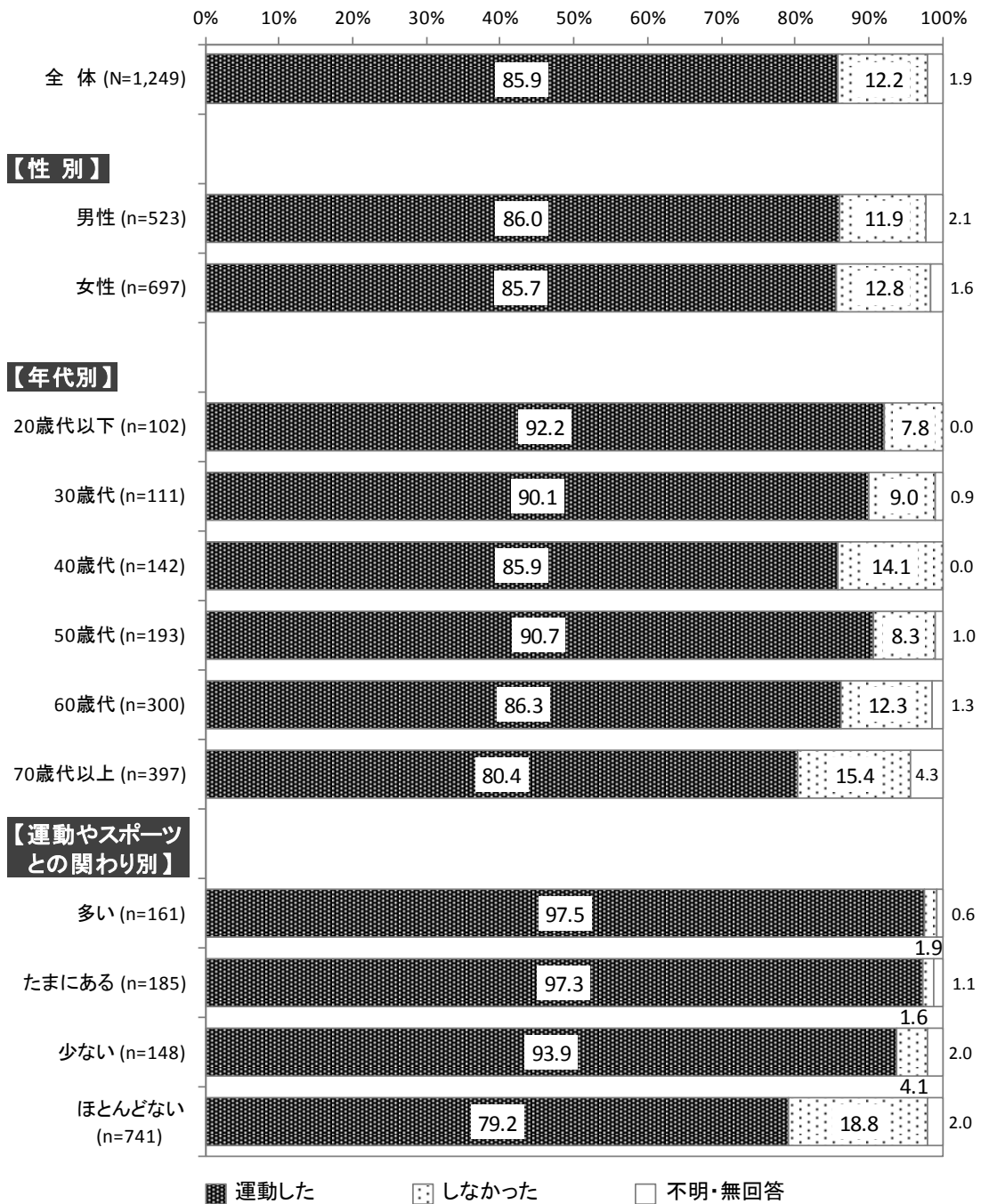


図 29 この1年間の運動やスポーツの実施有無《性別・年代別・休日における運動やスポーツとの関わり別》

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「運動やスポーツはしなかった」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

上位10項目 (複数回答)	ウォーキング	体操	自転車、サイクリング	室内補強運動、 使ってする運動器具を	ランニング、 ジョギング	軽い球技	ボウリング	エアロビクス、 ヨガ	オリエンテーリング、 ハイキング	ゴルフ	
全体 (N=1,249)	<u>59.1</u>	48.8	21.2	17.2	10.1	7.9	7.6	7.1	7.0	7.0	
性別	男性 (n=523)	<u>58.3</u>	39.8	21.2	<u>22.4</u>	15.1	11.7	10.9	1.1	5.4	13.2
	女性 (n=697)	<u>59.8</u>	55.5	21.7	13.5	6.3	5.5	5.3	11.8	7.7	2.2
年代別	20歳代以下 (n=102)	<u>53.9</u>	51.0	41.2	41.2	35.3	27.5	25.5	9.8	4.9	2.0
	30歳代 (n=111)	<u>62.2</u>	49.5	35.1	23.4	19.8	21.6	16.2	7.2	5.4	5.4
	40歳代 (n=142)	<u>57.0</u>	45.8	26.1	21.8	16.9	12.7	6.3	10.6	9.2	7.0
	50歳代 (n=193)	<u>59.6</u>	53.4	18.7	20.7	8.8	3.1	10.9	13.0	5.7	11.9
	60歳代 (n=300)	<u>64.7</u>	51.7	18.7	13.0	4.7	3.0	3.7	6.7	9.3	7.7
	70歳代以上 (n=397)	<u>55.4</u>	44.8	13.6	9.1	3.0	3.5	2.5	2.5	5.8	5.8
運動やスポーツの関わり別	多い (n=161)	<u>67.7</u>	60.2	25.5	36.0	29.8	13.7	16.1	14.3	10.6	16.1
	たまにある (n=185)	<u>65.4</u>	61.6	30.8	25.4	18.4	13.5	11.9	9.2	11.9	10.8
	少ない (n=148)	<u>64.2</u>	48.0	20.3	18.9	9.5	10.8	10.8	8.1	11.5	13.5
	ほとんどない (n=741)	<u>54.9</u>	43.5	18.4	10.9	4.0	4.9	4.2	4.9	4.2	3.0

図 30 この1年間に行った運動やスポーツの種目／府全体の上位10項目《性別・年代別》

○運動やスポーツの好き嫌い（図 20, p. 21参照）別に『運動した』割合をみると、どちらかといえは自分でする方が好きな人が97.7%で最も高く、次いで、自分でするのも見るのも好きな人が94.7%となっている。一方、するのも見るのも嫌いな人では「運動やスポーツはしなかった」が37.0%を占めている。

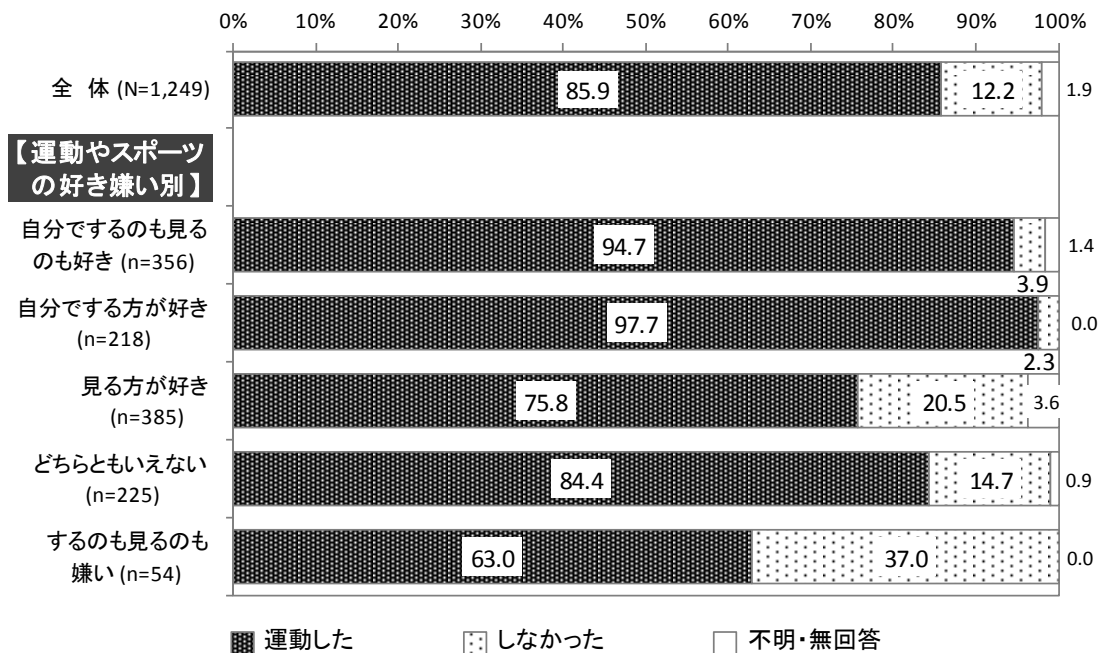


図 31 この1年間の運動やスポーツの実施有無《問 10 運動やスポーツの好き嫌い別》

(5) 運動やスポーツを行った日数

(問13で「1. 体操 (ラジオ体操、ストレッチ運動などを含む)」～「36. その他」と答えた方に)
 問14 その運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。(○は1つだけ)

※『週1以上』: 「年151日以上」(週に3日以上)と
 「年51日～150日」(週に1～2日)の合計

○この1年間に『運動した』人が運動やスポーツを行った日数は、「年151日以上(週に3日以上)」が28.8%で最も多く、「年51日～150日(週に1～2日)」(27.9%)と合わせると『週1以上』が56.7%となっている。

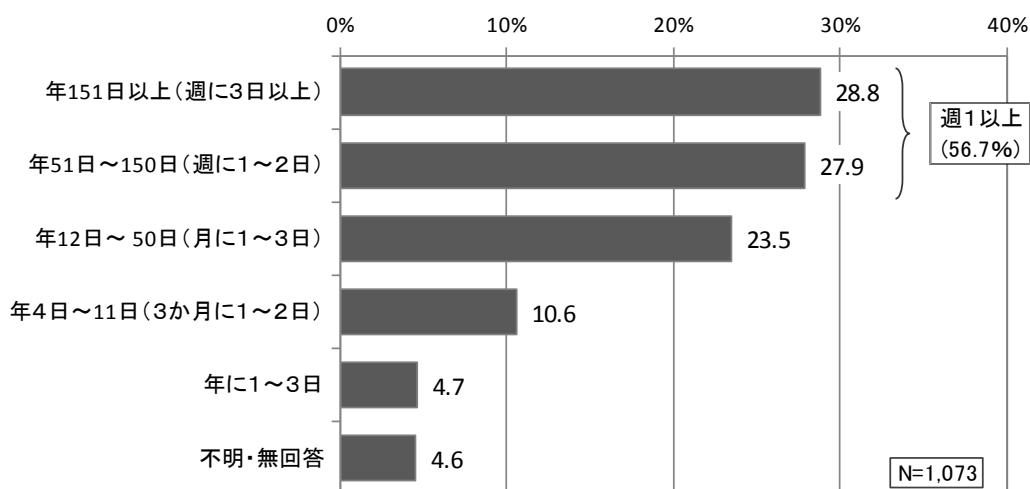


図 32 この1年間に『運動した人』が運動やスポーツを行った日数

【府内の成人が運動やスポーツを行った日数】

(問13 (p. 30) で「運動やスポーツはしなかった」と答えた方を含む)

『週1以上』: 48.7%、「年151日以上(週に3日以上)」: 24.7%

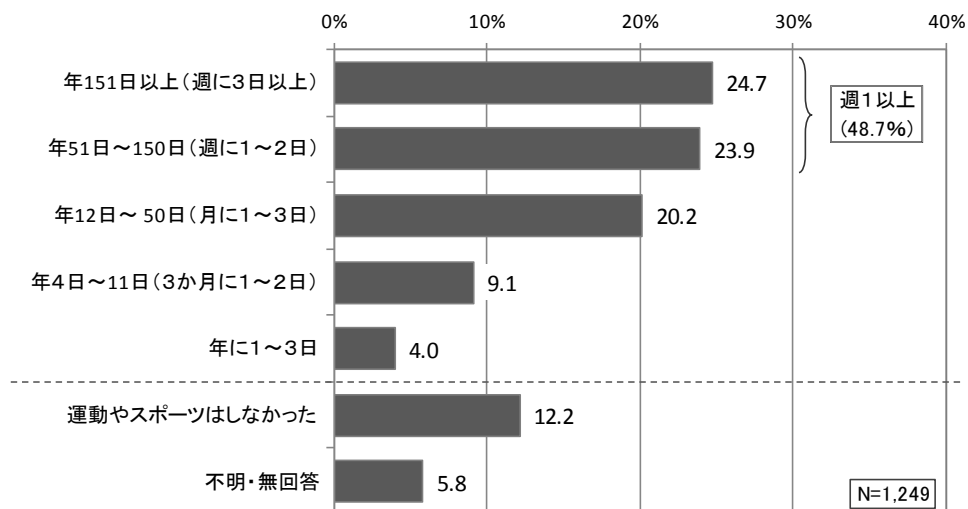
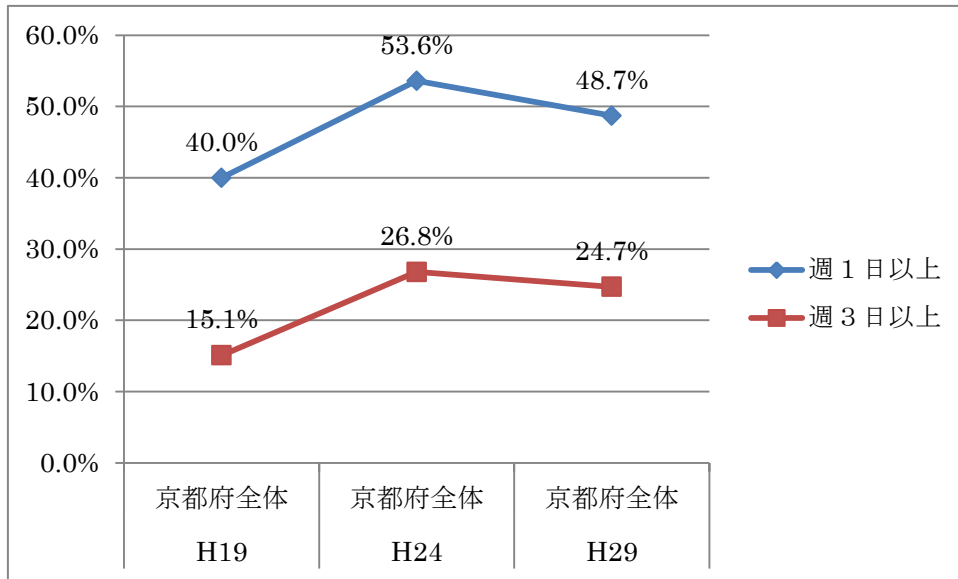


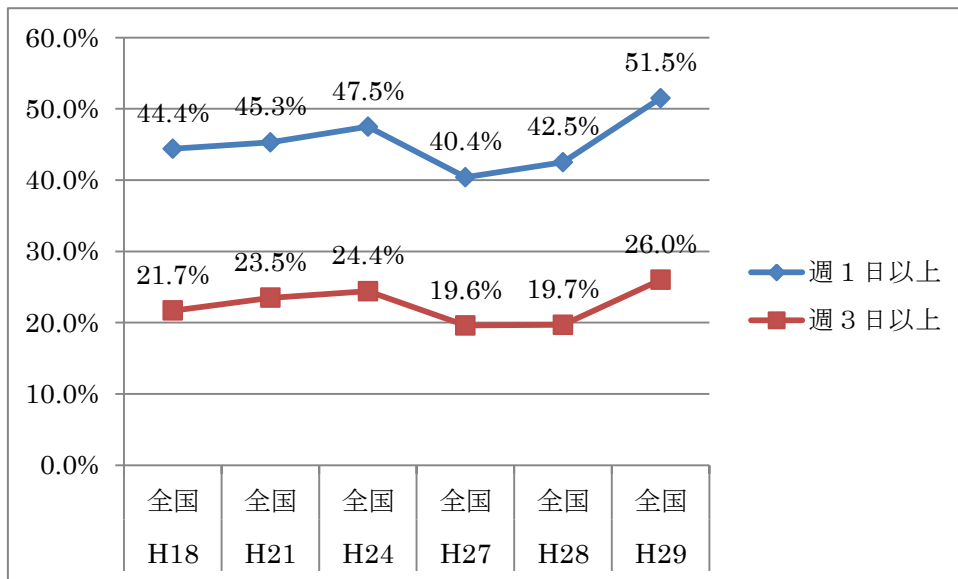
図 33 府全体の運動やスポーツを行った日数 (「運動やスポーツはしなかった」含む)

成人のスポーツ実施率の推移

【京都府】



【全国】



- 性別にみると、男性では「年151日以上(週に3日以上)」(27.8%)、女性では「年51日～150日(週に1～2日)」(30.3%)が最も多くなっている。『週1以上』の割合は、男性(52.9%)よりも女性(59.0%)の方が6.1ポイント高い。
- 年代別に『週1以上』の割合をみると、60歳代が65.3%で最も高く、次いで、70歳代以上が62.1%となっている。一方、30歳代以下では「年12日～50日(月に1～3日)」と回答した割合が、他の年代と比べて高くなっている。
- 職業別に『週1以上』の割合をみると、家事専業が64.2%で最も高く、以下、無職が61.5%、学生が58.1%と続いており、『有職』の人よりも『無職』の人の方が運動頻度が高い。一方、「年12日～50日(月に1～3日)」と回答した割合をみると、会社・団体等の職員(常勤)が29.9%で他の職業と比べてやや高くなっている。
- 休日の形態別に『週1以上』の割合をみると、完全週休2日制(土、日が休み)の人が55.5%で最も高く、次いで、完全週休2日制(土、日以外が休み)の人が48.1%となっており、他の休日形態の人よりも完全週休2日制の人の方がやや割合が高い。
- 休日における運動やスポーツとの関わり別に『週1以上』の割合をみると、多い人が82.2%で最も多く、次いで、たまにある人が63.3%となっている。一方、少ない人(44.6%)が最も低くなっている。

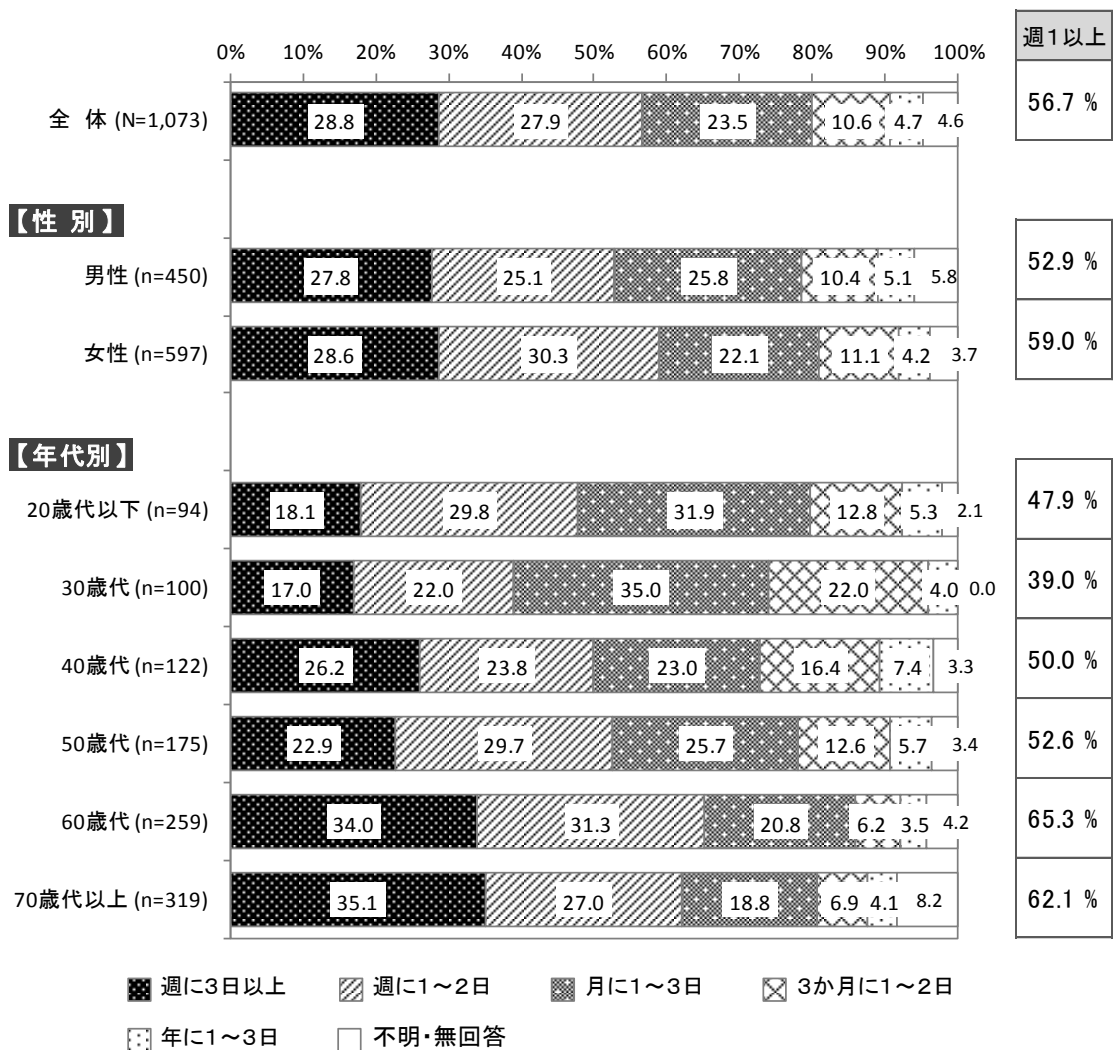


図 34 運動やスポーツを行った日数《性別・年代別》

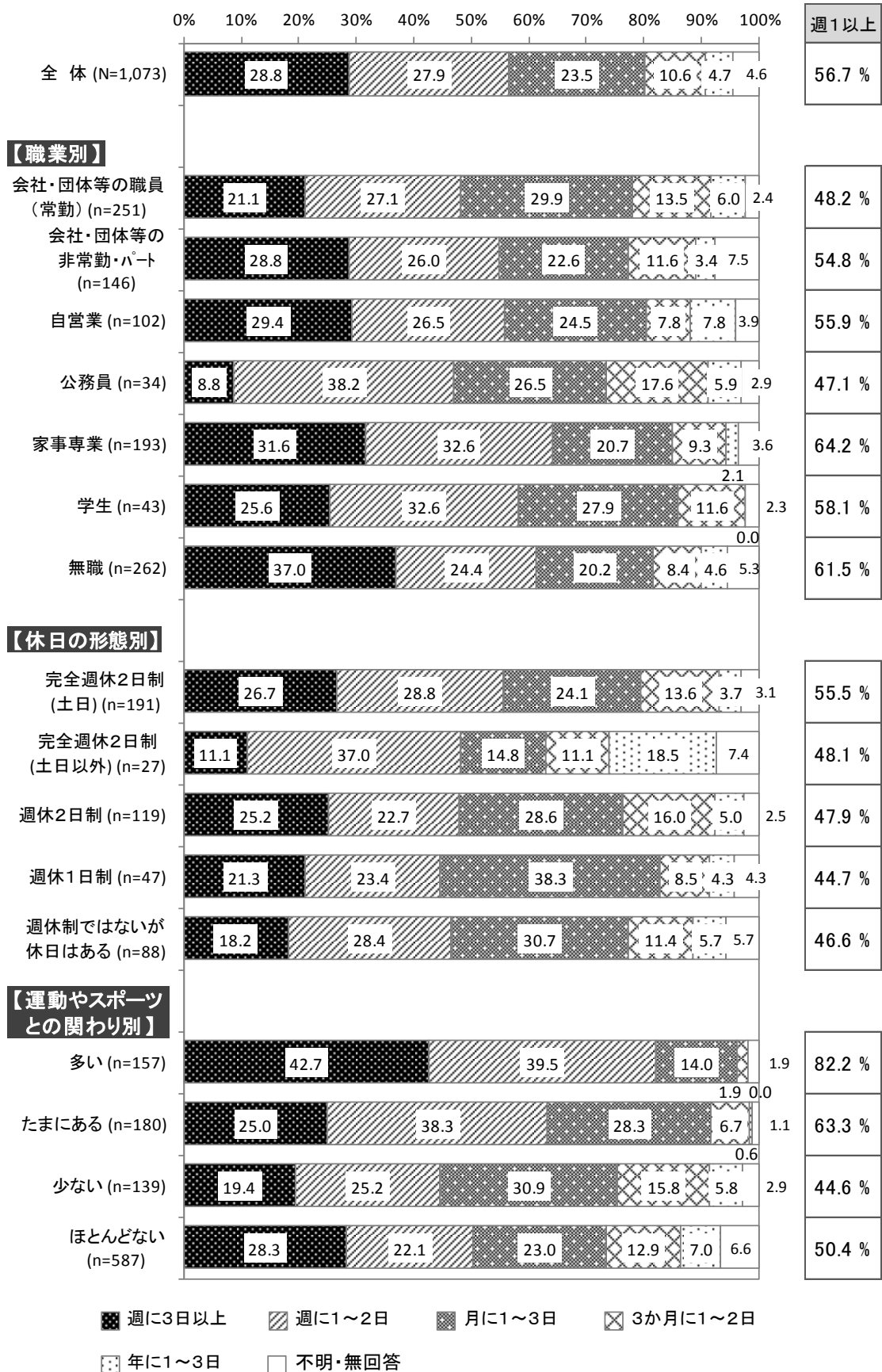


図 35 運動やスポーツを行った日数《職業別・休日の形態別・休日における運動やスポーツとの関わり別》

○現在の健康状態 (図 9, p. 9参照) 別に『週1以上』の割合をみると、『非健康』な人よりも『健康』な人の方が運動頻度が概ね高く、どちらかといえば健康である人では61.0%、健康である人では58.6%であるのに対し、健康でない人では40.4%となっている。

○普段、運動不足を感じるか (図 13, p. 13参照) 別に『週1以上』の割合をみると、運動不足を感じる人ほど運動頻度が低く、ほとんど(全く)感じない人では80.4%であるのに対し、大いに感じる人では45.1%となっている。

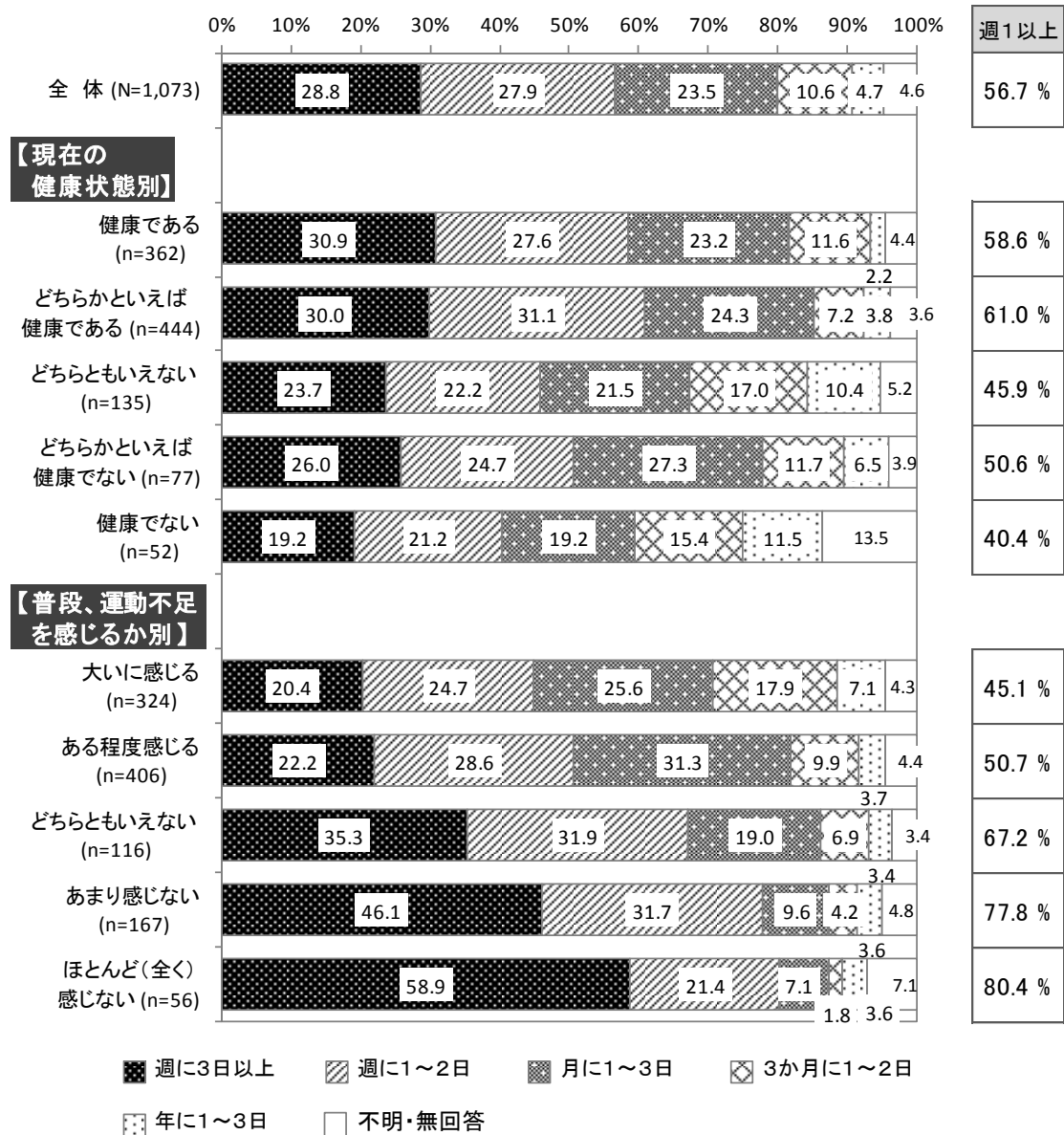


図 36 運動やスポーツを行った日数《問7 現在の健康状態別・問8 普段、運動不足を感じるか別》

○この1年間の運動やスポーツの種目（上位10項目）（図 28, p. 31参照）別に『週1以上』の割合をみると、ランニング、ジョギングが67.5%で最も高く、以下、補強運動、室内運動器具を使ってする運動が67.4%、体操が66.3%と続いている。一方、軽い球技、ボウリングでは「3か月に1～2日」の割合が他の種目と比べてやや高くなっている。

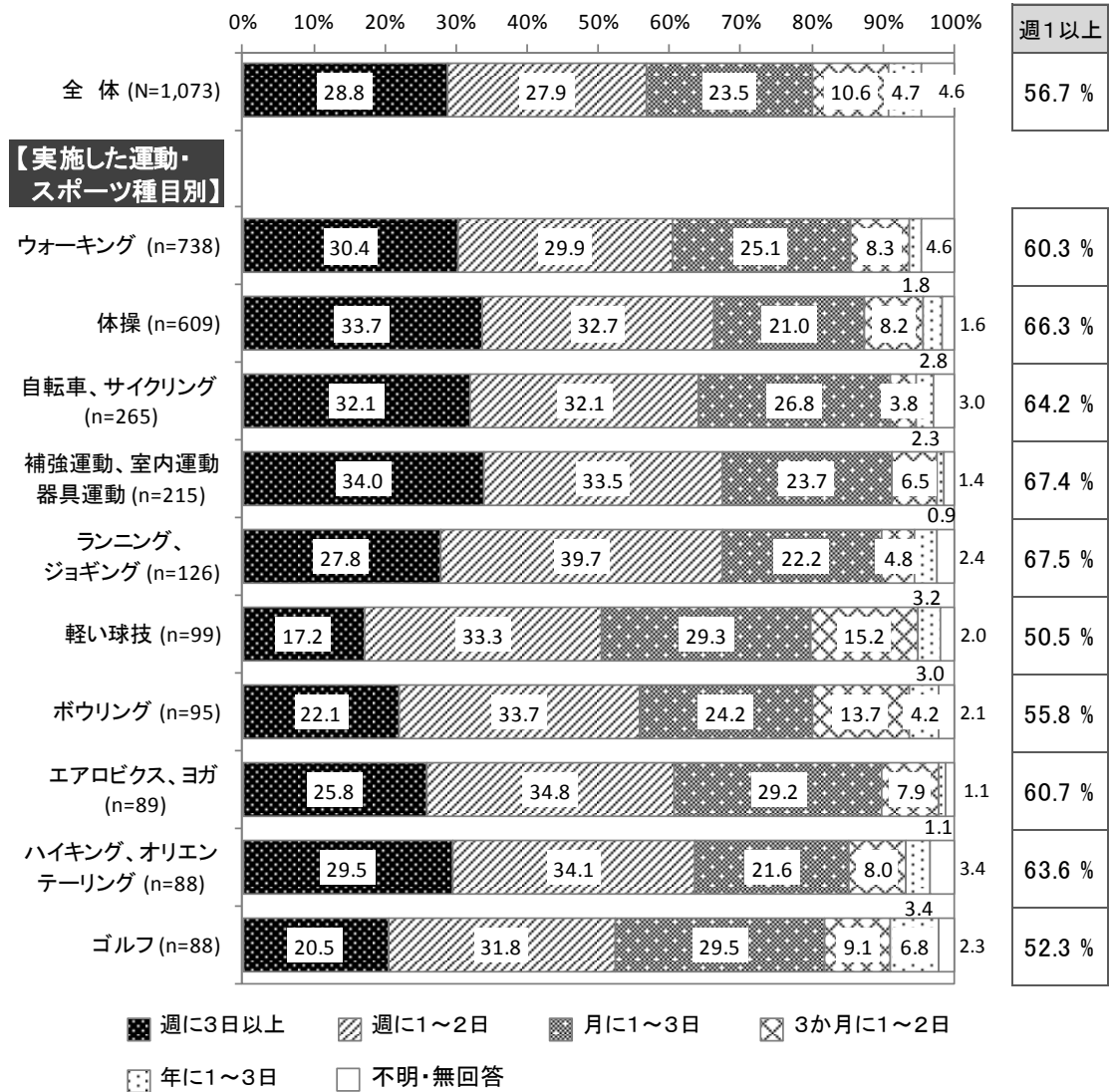


図 37 運動やスポーツを行った日数《問 13 この1年間の運動やスポーツの種目(上位 10 項目)別》

○運動やスポーツをした理由（図 39, p. 43参照）別に『週1以上』の割合をみると、自己の記録や能力を向上させるための81.6%で最も高く、以下、健康・体力づくりのための67.3%、美容や肥満解消のための60.9%と続いている。一方、家族のふれあいとしては「3か月に1～2日」の割合が他の種目と比べて高く、他の理由と比べて運動日数は少なめとなっている。

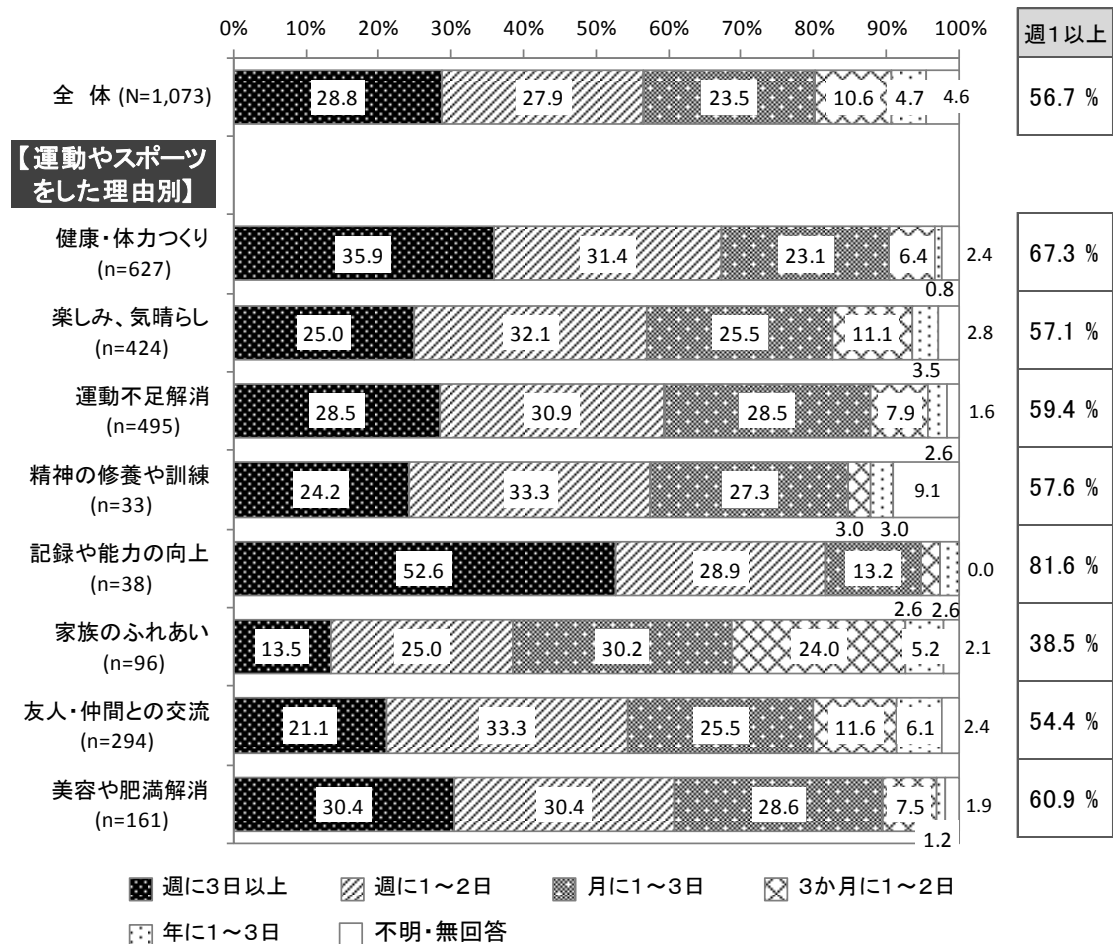


図 38 運動やスポーツを行った日数《問 15 運動やスポーツをした理由別》

(6) 運動やスポーツをした理由

(問13で「1. 体操 (ラジオ体操、ストレッチ運動などを含む)」～「36. その他」と答えた方に)
 問15 あなたがその運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。(複数回答可)

○運動やスポーツをした理由は、「健康・体力づくりのため」が58.4%で最も多く、以下、「運動不足を感じるから」が46.1%、「楽しみ、気晴らしとして」が39.5%と続いている。

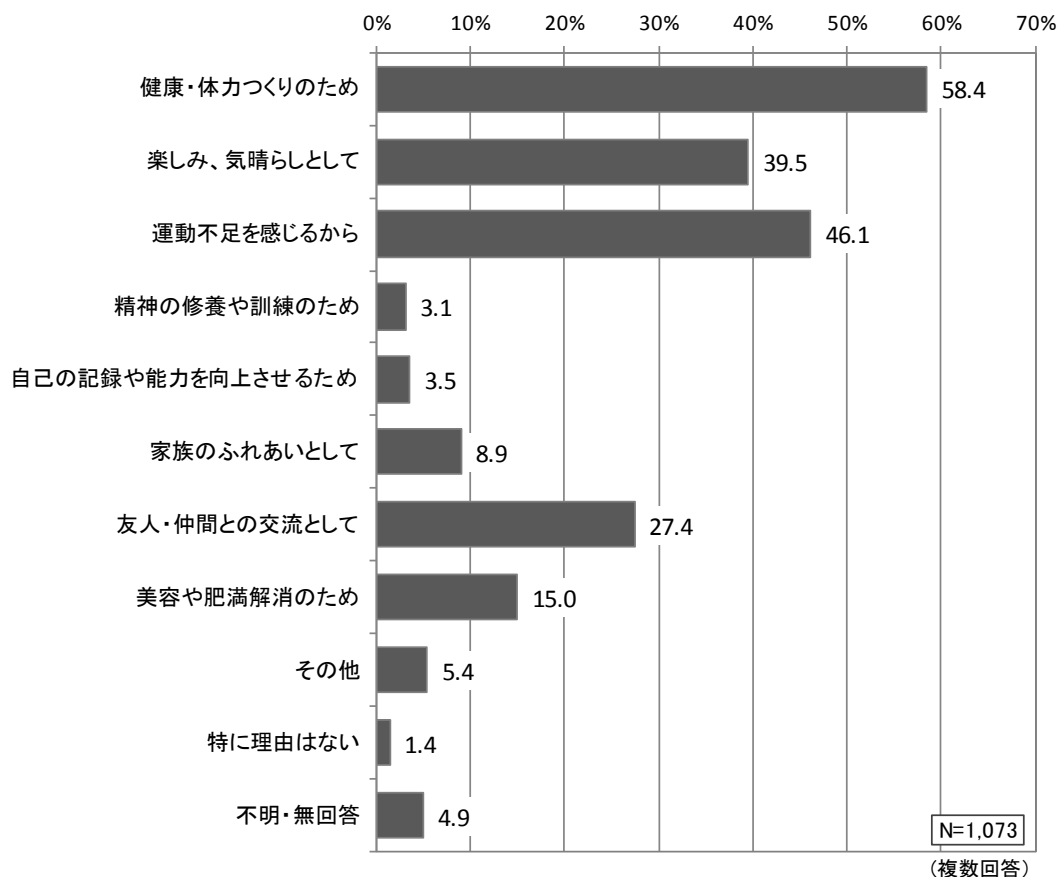


図 39 運動やスポーツをした理由

○性別にみると、男性・女性ともに「健康・体力づくりのため」、「運動不足を感じるから」、「楽しみ、気晴らしとして」の順で多くなっている。「美容や肥満解消のため」については、性別による差が大きく、女性では20.9%であるのに対し、男性では7.6%と13.3ポイントの差がある。

○年代別にみると、20歳代以下では「楽しみ、気晴らしとして」、他の年代では「健康・体力づくりのため」が最も多くなっている。次いで、20歳代以下では「友人・仲間との交流として」、30歳代では「楽しみ、気晴らしとして」、40歳代以上では「運動不足を感じるから」となっている。

○この1年間の運動やスポーツの種目(上位10項目)(図 28, p. 31参照)別にみると、軽い球技とボウリングでは「楽しみ、気晴らしとして」、ゴルフでは「楽しみ、気晴らしとして」と「友人・仲間との交流として」が同率で、他の種目では「健康・体力づくりのため」が最も多くなっている。

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

(複数回答)		健康・体力づくりのため	楽しみ、気晴らしとして	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間との交流として	美容や肥満解消のため	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体 (N=1,073)		58.4	39.5	46.1	3.1	3.5	8.9	27.4	15.0	5.4	1.4	4.9
性別	男性 (n=450)	54.2	41.1	44.7	4.4	5.1	8.0	28.4	7.6	5.3	1.3	6.0
	女性 (n=597)	61.1	38.7	48.6	1.8	2.2	9.5	26.8	20.9	5.4	1.5	4.0
年代別	20歳代以下 (n=94)	42.6	56.4	38.3	10.6	11.7	6.4	43.6	23.4	9.6	2.1	4.3
	30歳代 (n=100)	51.0	48.0	41.0	3.0	3.0	23.0	21.0	18.0	8.0	4.0	3.0
	40歳代 (n=122)	51.6	41.0	42.6	2.5	1.6	22.1	22.1	18.0	6.6	2.5	0.0
	50歳代 (n=175)	54.9	44.6	48.6	1.7	3.4	7.4	24.6	25.1	7.4	0.6	3.4
	60歳代 (n=259)	68.3	30.5	49.8	2.7	3.1	6.9	22.4	12.4	5.0	1.2	5.8
	70歳代以上 (n=319)	61.8	35.4	47.3	2.2	2.2	2.8	32.0	6.6	2.2	0.6	7.8
この1年間に ↑上位10項目 行った運動や スポーツ	ウォーキング (n=738)	64.6	40.1	51.2	2.7	3.1	9.8	24.7	17.1	4.3	1.2	5.0
	体操 (n=609)	68.0	38.9	54.4	3.6	3.8	7.9	27.1	18.7	6.7	0.7	1.5
	自転車※1 (n=265)	61.5	47.2	49.4	4.2	6.0	9.4	28.3	18.9	7.2	1.5	2.6
	補強運動※2 (n=215)	73.5	47.0	53.5	6.0	7.4	8.8	32.6	28.8	5.6	0.5	1.9
	ランニング※3 (n=126)	71.4	59.5	50.8	7.9	10.3	10.3	39.7	25.4	9.5	0.8	0.8
	軽い球技 (n=99)	48.5	55.6	38.4	6.1	5.1	27.3	46.5	12.1	6.1	0.0	3.0
	ボウリング (n=95)	50.5	61.1	42.1	2.1	3.2	21.1	49.5	21.1	5.3	0.0	5.3
	エアロビクス※4 (n=89)	82.0	51.7	58.4	6.7	4.5	12.4	30.3	42.7	2.2	0.0	1.1
	ハイキング※5 (n=88)	79.5	62.5	51.1	6.8	5.7	18.2	51.1	22.7	4.5	0.0	1.1
	ゴルフ (n=88)	53.4	61.4	42.0	2.3	8.0	6.8	61.4	14.8	2.3	0.0	1.1

※1: 自転車、サイクリング ※2: 補強運動、室内運動器具運動 ※3: ランニング、ジョギング ※4: エアロビクス、ヨガ ※5: ハイキング、オリエンテーリング

図 40 運動やスポーツをした理由《性別・年代別・問13 この1年間の運動やスポーツの種目(上位10項目)別》

(7) 運動やスポーツをしなかった理由

(問13で「37. 運動やスポーツはしなかった」と答えた方に)

問16 この1年間に、運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。

(複数回答可)

○運動やスポーツをしなかった理由は、「年をとったから」が28.3%で最も多く、以下、「仕事(家事・育児・介護を含む)が忙しくて時間がないから」が27.6%、「機会がない」が24.3%、「面倒だから」が19.1%と続いている。

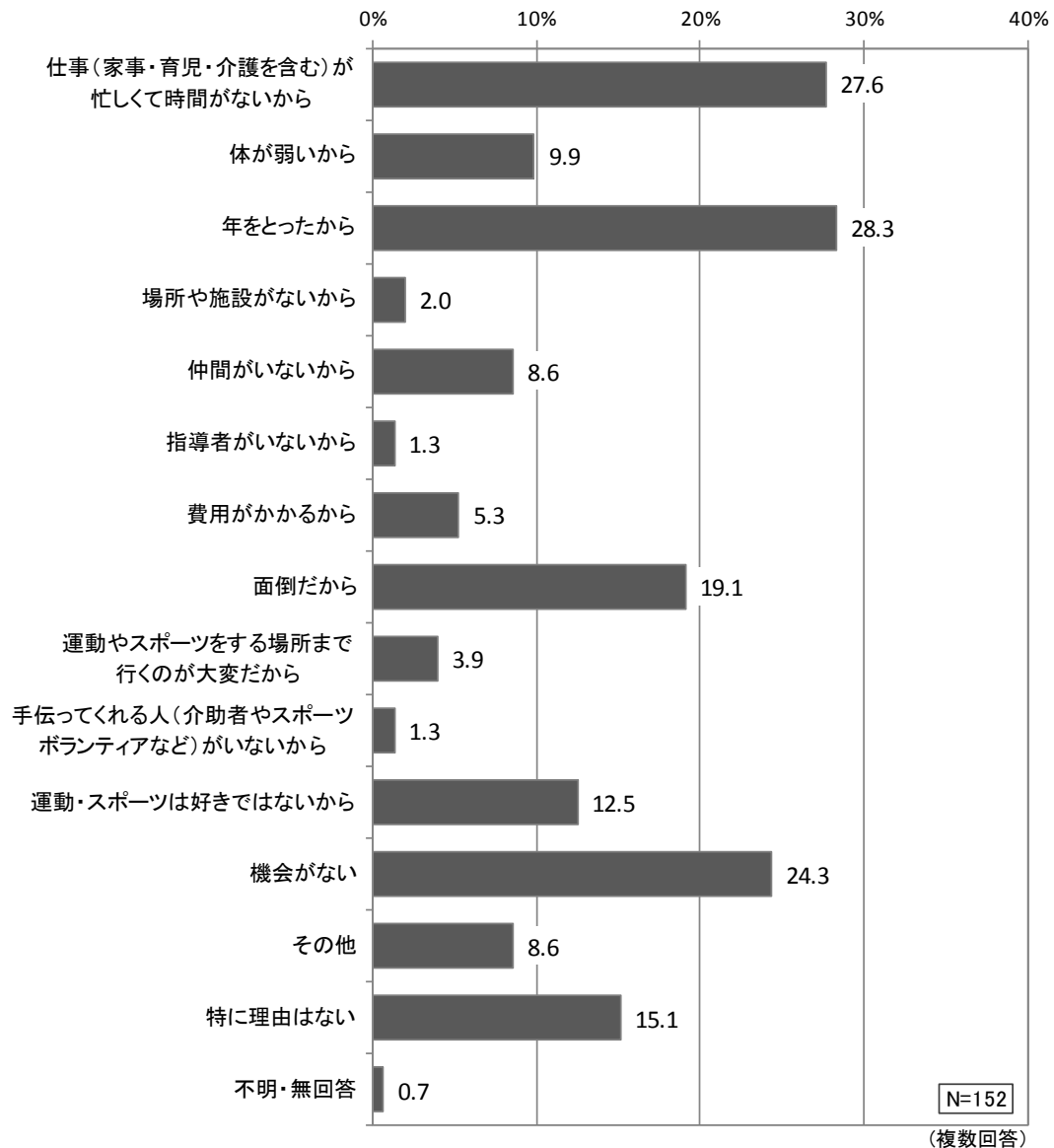


図 41 運動やスポーツをしなかった理由

○性別にみると、男性では「年をとったから」と「特に理由はない」が同率で、女性では「仕事が忙しくて時間がないから」が最も多くなっている。「運動・スポーツは好きではないから」については、性別による差が大きく、男性では4.8%であるのに対し、女性では16.9%と12.1ポイントの差がある。

○年代別（注）にみると、30歳代以下と40-50歳代では「仕事が忙しくて時間がないから」、70歳代以上では「年をとったから」が最も多く、60歳代では「仕事が忙しくて時間がないから」と「機会がない」が同率で多くなっている。「仕事が忙しくて時間がないから」、「面倒だから」については若い年代ほどその割合が高くなっている。また、30歳代以下では「運動・スポーツは好きではないから」の割合が高い。

注）該当件数が少ないため、この設問では年代を4区分に集約して集計している

○職業別（注）にみると、『有職』では「仕事が忙しくて時間がないから」、『無職』では「年をとったから」が最も多くなっている。以下、『有職』では「機会がない」、「面倒だから」、『無職』では「特に理由はない」、「面倒だから」が続いている。

注）該当件数が少ないため、この設問では職業を『有職』と『無職』に集約して集計している

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

上位10項目 (複数回答)	年をとったから	仕事(家事・育児・介護を含む)がないから	機会がない	面倒だから	特に理由はない	運動・スポーツは好きではないから	体が弱いから	仲間がいないから	費用がかかるから	運動やスポーツをする場所まで行くのが大変だから
全 体 (N=152)	28.3	27.6	24.3	19.1	15.1	12.5	9.9	8.6	5.3	3.9
性別										
男性 (n=62)	25.8	22.6	21.0	16.1	25.8	4.8	11.3	11.3	1.6	0.0
女性 (n=89)	29.2	31.5	27.0	20.2	7.9	16.9	9.0	6.7	7.9	6.7
年代別										
30歳代以下 (n=18)	5.6	55.6	33.3	44.4	5.6	33.3	11.1	11.1	5.6	5.6
40-50歳代 (n=36)	5.6	41.7	36.1	33.3	16.7	13.9	2.8	11.1	11.1	8.3
60歳代 (n=37)	27.0	32.4	32.4	21.6	10.8	8.1	8.1	10.8	8.1	5.4
70歳代以上 (n=61)	49.2	8.2	9.8	1.6	19.7	8.2	14.8	4.9	0.0	0.0
職業別										
有職※1 (n=70)	11.4	48.6	40.0	24.3	10.0	12.9	4.3	11.4	10.0	5.7
無職※2 (n=81)	43.2	9.9	11.1	14.8	19.8	12.3	13.6	6.2	1.2	2.5

注) 該当件数が少ないため、年代別と職業別は項目を集約した結果を示している

※1: 会社・団体等の職員(常勤)、会社・団体等の非常勤・パート、自営業、公務員、その他を集約 ※2: 家事専業、学生、無職を集約

図 42 運動やスポーツをしなかった理由／府全体の上位 10 項目《性別・年代別・職業別》